

長崎大学 客員教授
参議院議員

秋野 公造

日本創傷治癒学会の先生方にはいつも大変お世話になっております。
秋野公造です。

私は長崎大学形成外科の平野明喜教授のもと秋田定伯グループの一員として間葉系幹細胞を用いた創傷治癒機転にかかわる研究に従事しました。European Tissue Repair SocietyよりYoung Investigator Awardを頂くなど身に余る恵まれた環境で研究していたところ、大学の人事として厚生労働省に出向。2年経てば、再び研究の世界に戻ろうと思っていたところ、採用試験の受験を勧められ、合格したことから官僚として生きていこうと決めて勤務を続けておりました。

しかしながら、その後に参院選の出馬を打診され、ご指導のお蔭で当選することができましたので、再び先生方とお仕事をする機会を賜った次第です。

最初にお声がけを頂いたのは下肢救済・足病学会の大浦武彦理事長でした。大浦先生とは第38回研究奨励賞受賞時に激励を賜った縁で、下肢の創傷について診療上の評価を目指すこととなりました。透析患者の4%が下肢を切断し、一度切断に至ると1年で半数の方がお亡くなりになる極めて深刻な状況でした。

折しも、北海道医療大学の浅香正博学長のご指導のもと国会質疑を通じて、国に胃がんの原因をピロリ菌と認めさせることができ、「胃がん予防のためのピロリ菌除菌」の保険適用を実現し¹、胃がんで亡くなる方の数が減り始めた頃でした。

大浦先生は、「秋野君、胃がんは慢性胃炎から萎縮性胃炎に進行し、その中から胃がんが発生するのであり、予防というよりも重症化予防というべきである。まさに、慢性腎臓病から末期腎不全に進行し、その中から下肢切断などの合併症に至る過程と同じであり、重症化予防に取り組もうではないか」とご指導下さいました。

そこで、政府が毎年定める骨太の方針に「合併症予防を含む重症化予防」という文言を盛り込ませ、また国会質疑を通じて、さらに大浦先生は下肢救済・足病学会にて専門家及び患者会と合意を図り、その結果、平成28年度診療報酬改定にて「下肢末梢動脈疾患指導管理加算」が実現しました²。今や重症化予防という言葉は行政に定着し、次は後継の日本フットケア足病医学会の寺師浩人理事長のもと下肢創傷に対する診療上の評価を目指しているところです。

次にお声がけを頂いたのは第35回研究奨励賞受賞者である日本法医病理学会の近藤稔和理事長でした。近藤先生には死因究明に関する



NEWS
LETTER

日本創傷治癒学会
2021.07
No.124

●日本創傷治癒学会事務局

〒160-8582

東京都新宿区信濃町35

慶應義塾大学

医学部形成外科学教室内

tel.03-3351-4774

fax.03-3352-1054

e-mail : info@jswh.com

URL : <https://www.jswh.com>

法律が失効していたことから、恒久法の必要性をご指導賜りました。

そこで、公明党死因究明等推進PT座長の立場で自民党と議員立法の案を作成し、野党の皆様のご理解も得て、令和元年6月8日に死因究明推進基本法が成立。その後も虐待死を防ぐ観点から、医学部において虐待は法医学にて履修することを踏まえ、キズを診る専門家として近藤先生と連携して沖縄の遺骨収容も含めて制度設計に努めているところです。

思えば、今なお日本創傷治癒学会に所属を許され、仕事に携わっておりますことに感謝は尽きません。新型コロナウイルス対策においてもレムデシビルの利用を昨年3月9日の時点で提案し、国際共同治験を開始できたことから5月7日に特例承認に至り、死亡率は大きく下がりました。

また、オリパラを開催する我が国にあっては国産ワクチンの開発を待つことができず、昨年7月16日に外産ワクチンの確保を提案し、3社のワクチン確保に至ったことなど、科学に基づく政策提案に務めようとしたことも創傷治癒学会に身を置いたからと感謝に堪えません。与えられた職責を果たしてまいるので、変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますよう伏してお願い申し上げます。

- 1) 浅香正博、秋野公造 胃がんはピロリ菌除菌でなくせる(潮新書)
- 2) 大浦武彦、秋野公造 足病の教科書(三五館)



漢方は、自然から。

漢方は、たくさんの人の手と想いを経て生まれます。

長い年月をかけて、樹木が豊かな山を育み、その山で水が蓄えられる。

山で磨かれた水が、生薬をつくるための畑に注がれ、
生産農家のみなさんによって大切に育てられる。

人が本来持っている自然治癒力を高め、生きる力を引き出すことを目的とした
漢方にとって、「自然」はいのちを強くする力そのものです。

その力をそこなうことなく、すべての人が受け取れる形にして届けたい。
そして健康に役立ててほしい。

100年以上、自然と向き合いつづけてきた私たちツムラの願いです。

自然と健康を科学する。漢方のツムラです。

ツムラ
www.tsumura.co.jp

資料請求・お問い合わせは、お客様相談窓口まで。
【医療関係者の皆様】 0120-329-970 【患者様・一般のお客様】 0120-329-930
受付時間 9:00～17:30(土・日・祝日は除く)